

【コネクター接続設定ガイド】 HULFT Square コネクター for Microsoft SharePoint

株式会社セゾンテクノロジー
カスタマーサクセス本部
カスタマーサクセス部

版数	発行日	改版内容
第1版	2025.02.28	初版リリース

接続先サービス	コンポーネントアイコン名	機能概要
SharePoint	ドキュメントダウンロード	SharePoint上のドキュメントをダウンロードします。
	ファイルパス一覧取得	SharePoint上の指定したファイルのファイルパスを一覧で取得します。
	ドキュメントアップロード	SharePoint上にドキュメントをアップロードします。

※本資料ではMicrosoft SharePointを、SharePointと称します

SharePointとの接続

SharePointへの接続情報を取得し、HULFT Squareに接続設定を作成します。

本資料はSharePoint上にサイトが用意されていることを前提にしています。
サイトの作成方法については、Microsoft社のドキュメントをご参照ください。

1. SharePoint側の設定

- 1.1 接続用アプリケーションの作成
- 1.2 APIのアクセス許可設定
- 1.3 資格情報の作成

2. HULFT Square側の設定

- 2.1 OAuth 2.0認証コネクションの作成
- 2.2 SharePointコネクションの作成

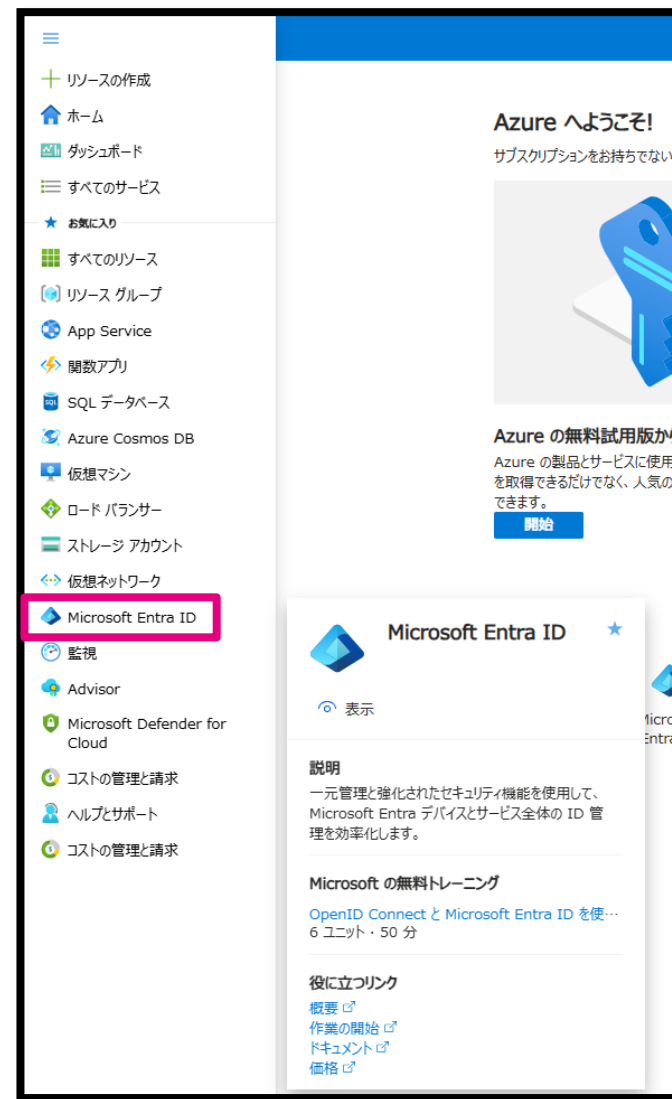
3. 接続テスト

設定は2025年1月28日時点の手順です。
クラウドサービスのため、変更されている場合があります。
変更されている場合、カスタマーサポートまでご連絡ください。

1. SharePoint側の設定

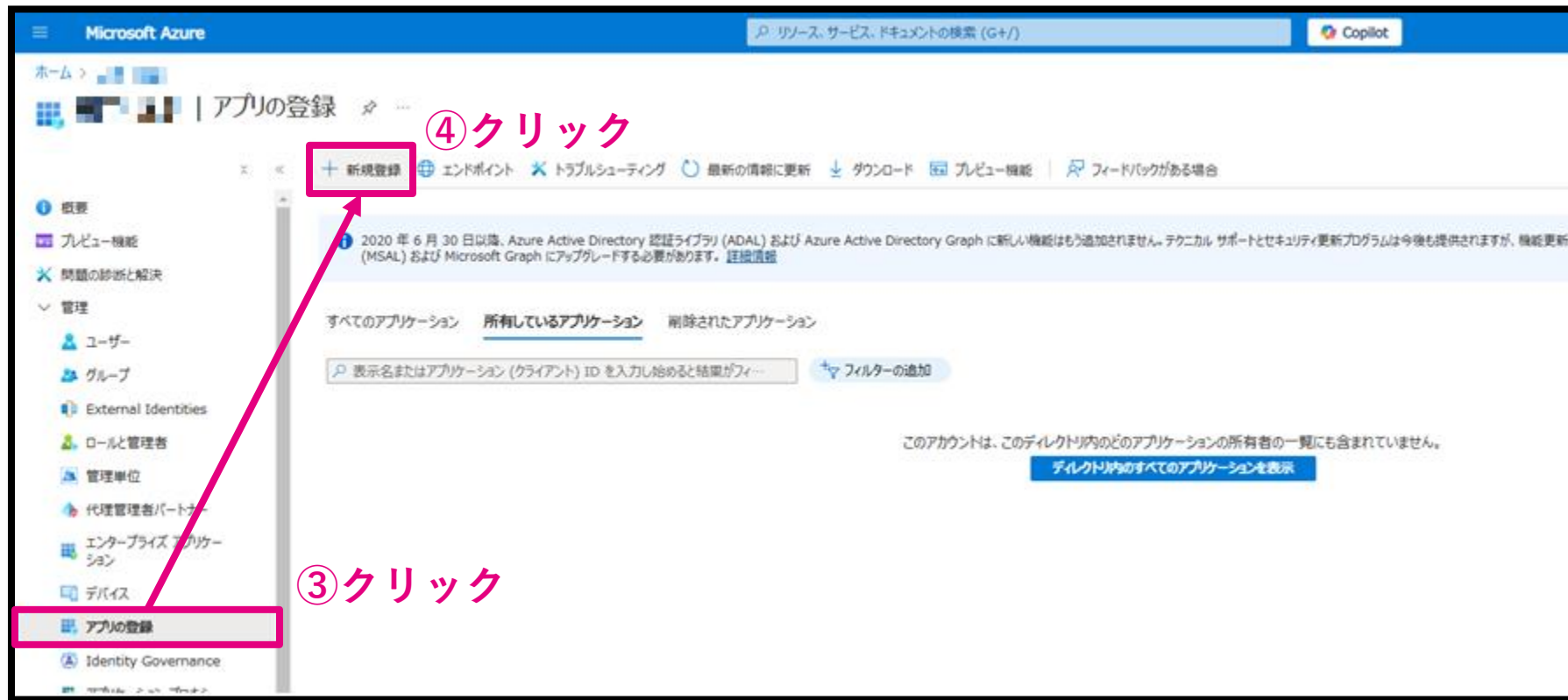
1.1 接続用アプリケーションの作成 (1/3)

- ① Azureポータルにログインします
- ② 画面左から「Microsoft Entra ID」をクリックします



1.1 接続用アプリケーションの作成 (2/3)

- ③画面左から「アプリの登録」をクリックします
- ④「アプリの登録」画面が開いたら「新規登録」をクリックします



1.1 接続用アプリケーションの作成 (3/3)

⑤ 「アプリケーションの登録」の各項目を入力し、画面下の「登録」ボタンをクリックします

項目	設定値
名前	任意の文字列
サポートされてるアカウントの種類	お客様の要件合わせて選択ください
リダイレクト URI	プラットフォームの選択："Web" URI：認証に使用するコネクションの作成画面をHULFT Squareで開き、「Redirect URI」の文字列をコピー&ペーストします（下図参照）

「Redirect URI」の値を
予めコピーし、控えておきます

↑ OAuth 2.0認証コネクションの作成画面

1.2 APIのアクセス許可設定 (1/2)

- ①画面左から「APIのアクセス許可」をクリックします
- ②「アクセス許可の追加」をクリックします

The screenshot shows the Microsoft Azure portal interface for managing API permissions. The left-hand navigation pane is visible, with 'API permissions' selected and highlighted in pink. A pink arrow points from this menu item to the '+ Add' button in the main content area, which is also highlighted in pink. The main content area displays a table of permissions for the application 'Application_ForSuccessNavi'. The table has columns for 'API / Access permission name', 'Type', 'Description', 'Admin consent required', and 'Status'. One permission is listed: 'User.Read' under 'Microsoft Graph (1)'. The status for this permission is 'Granted for all users'.

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
Microsoft Graph (1)				...
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	いいえ	...

1.2 APIのアクセス許可設定（2/2）

③画面右に「API アクセス許可の要求」が表示されます

④「アプリケーションに必要なアクセス許可の種類」で“委任されたアクセス許可”を選択後、必要なアクセス許可を追加します。

※必要な権限は使用する機能や操作の範囲によって異なりますので、Microsoft社のドキュメントを確認しながら要件に合わせて追加ください

今回は例として下記のアクセス許可を追加します

API/アクセス許可の名前		説明
Microsoft Graph	offline_access	ユーザーが現在アプリを使用していないときでも、アプリがアクセス権を与えたデータを見たり更新したりできるように許可（リフレッシュトークンの発行）
SharePoint	AllSites.Manage	サインインしたユーザーの代理として、全てのサイトコレクション内のドキュメント、ライブラリ、リストの読み取り、作成、更新、削除を行うことをアプリに許可
	EnterpriseResource.Read	アプリが現在のユーザーの企業リソースを読むことを許可

1.3 資格情報の作成 (1/2)

- ① アプリケーションの情報ページを開き、「証明書とシークレット」をクリックします
- ② 「新しいクライアントシークレット」をクリックします

Microsoft Azure

ホーム > アプリの登録 > Application_ForSuccessNavi

Application_ForSuccessNavi | 証明書とシークレット

検索 フィードバックがある場合

概要
クイック スタート
統合アシスタント
問題の診断と解決
管理

ブランド化とプロパティ
認証

証明書とシークレット

トークン構成
API のアクセス許可
API の公開
アプリ ロール
所有者
ロールと管理者
マニフェスト
サポート + トラブルシューティング

資格情報は、Web アドレスの指定が可能な場所で (HTTPS スキーマを使用して) トークンを受信する際に、機密性の高いアプリケーションが認証サービスに対して自身を識別できるようにするためのものです。より高いレベルで保証するには、資格情報として (クライアント シークレットではなく) 証明書を使うことをお勧めします。

アプリケーション登録証明書、シークレット、フェデレーション資格情報は、下のタブにあります。

証明書 (0) **クライアント シークレット (0)** フェデレーション資格情報 (0)

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーション パスワードと呼ばれることもあります。

+ 新しいクライアント シークレット

説明	有効期限	値	シークレット ID
このアプリケーションのクライアント シークレットは作成されていません。			

①クリック

②クリック

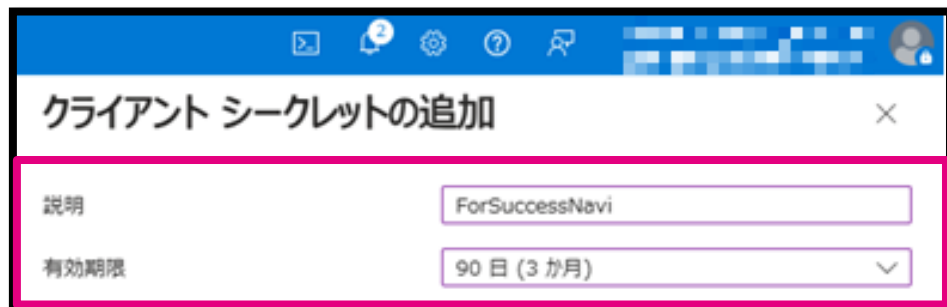
1.3 資格情報の作成 (2/2)

③ 「クライアントシークレットの追加」画面で「説明」「有効期限」を設定します

④ クライアントシークレットが作成されたことを確認します

[注意]作成されたクライアントシークレットの「値」を必ず記録してください

HULFT Square側でコネクションを設定する際に必要ですが、作成直後のみ確認が可能な値となっています



③要件に合わせて入力



④値を記録しておく

2. HULFT Square側の設定

2.1 OAuth 2.0認証コネクションの作成 (1/6)

- ①HULFT Squareにログインします
- ②「メイン」>「HULFT Integrate」>「コネクション」>「新規追加」をクリックします
- ③コネクションの種類で「OAuth 2.0認証」を選択し、「次へ」をクリックします
- ④「名前」に任意の文字列を入力し、「ワークスペース」に任意のワークスペースを選択します

HULFT INTEGRATE >
コネクション > 新規追加

種類

戻る

全般

設定

プロフィール

サマリー

Q 種類

コネクター

種類

Google Cloud Storage servi...
Google Workspace
JDBC
kintone
Microsoft Azure
MySQL
OAuth
Oracle
PostgreSQL

OAuth 2.0認証
OpenID Connect 1.0認証

キャンセル 次へ



HULFT INTEGRATE >
コネクション > 新規追加

種類

戻る

全般

設定

プロフィール

サマリー

名前 *

OAuth 2.0認証

ワークスペース *

Personal

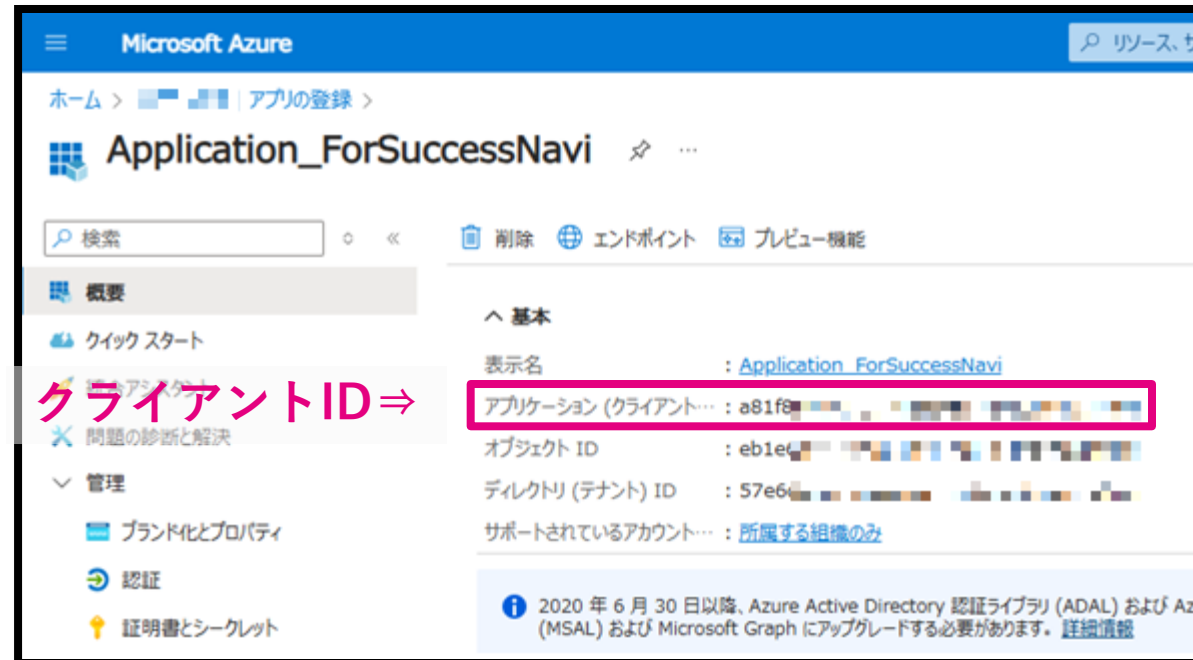
説明

キャンセル 次へ

2.1 OAuth 2.0認証コネクションの作成 (2/6)

⑥各設定値を入力します

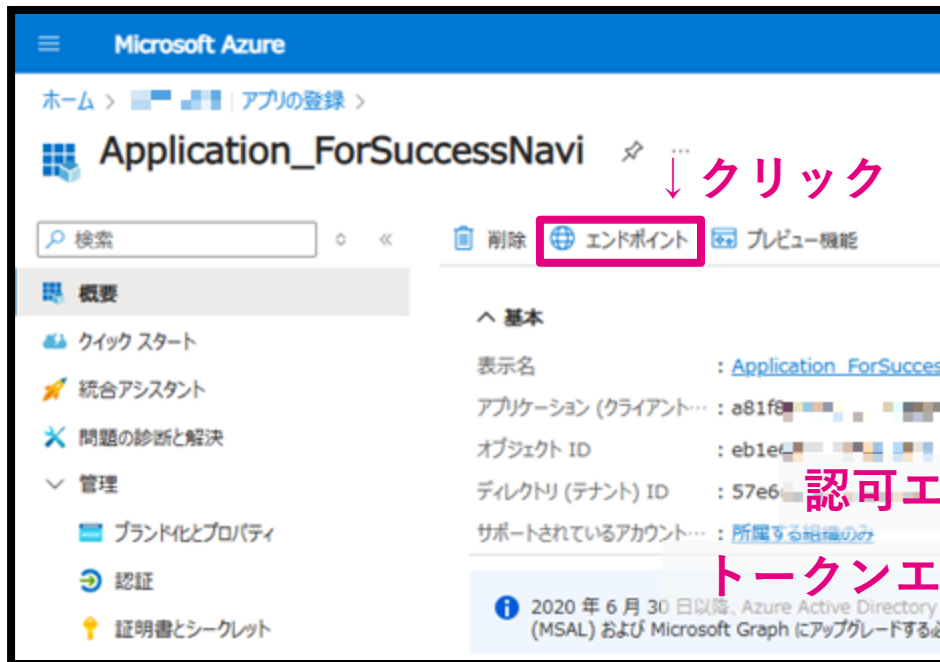
項目	設定値
クライアントID	Azureポータルで作成したアプリケーションの概要から「アプリケーション(クライアント)ID」をコピー
クライアントシークレット	P.13で保存した、クライアントシークレットの「値」をコピー



2.1 OAuth 2.0認証コネクションの作成 (3/6)

⑥各設定値を入力します (つづき)

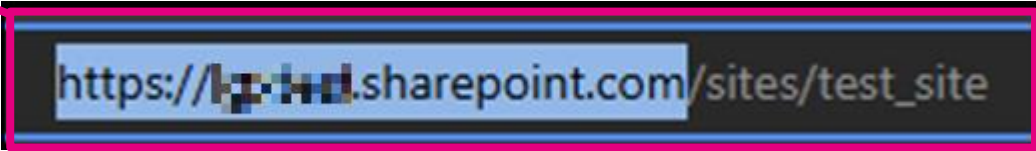
項目	設定値
認可エンドポイント	アプリケーションの概要から「エンドポイント」タブを開き「OAuth 2.0 承認エンドポイント (v2)」の値をコピー
トークンエンドポイント	アプリケーションの概要から「エンドポイント」タブを開き「OAuth 2.0 トークン エンドポイント (v2)」の値をコピー



2.1 OAuth 2.0認証コネクションの作成 (4/6)

⑥各設定値を入力します (つづき)

項目	設定値
スコープ	※P.11でのAPIのアクセス許可と同様に、必要な権限は使用する機能や操作によって異なります。 今回は例として下記のスコープを追加します 【Value】 ・ offline_access ・ <接続するサイトのドメイン>/default



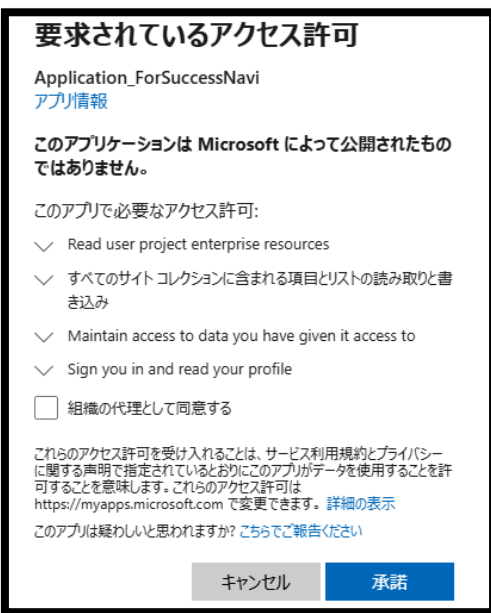
↑ 接続するサイトのドメイン (選択部分)

接続したいSharePointのサイトのホーム画面

2.1 OAuth 2.0認証コネクションの作成 (5/6)

⑥各設定値を入力します (つづき)

項目	設定値
クライアント認証方式	client_secret_basic
リフレッシュトークン	「リフレッシュトークン発行…」のボタンをクリック後、 すると自動的に入力されます *1
アクセストークン有効期間(秒)	任意の秒数



*1

「リフレッシュトークンの発行…」をクリックすると別ウィンドウが起動し、サインインとアプリのアクセス許可が求められます。

“組織の代理として同意する”を選択した状態で「承諾」をクリックします。その後HULFT Squareの画面に戻りますので、プロファイル等の選択を行いリフレッシュトークンの作成を行います。

※別ウィンドウが起動しない場合は、シークレットウィンドウなどで操作を行い解決するか確認ください

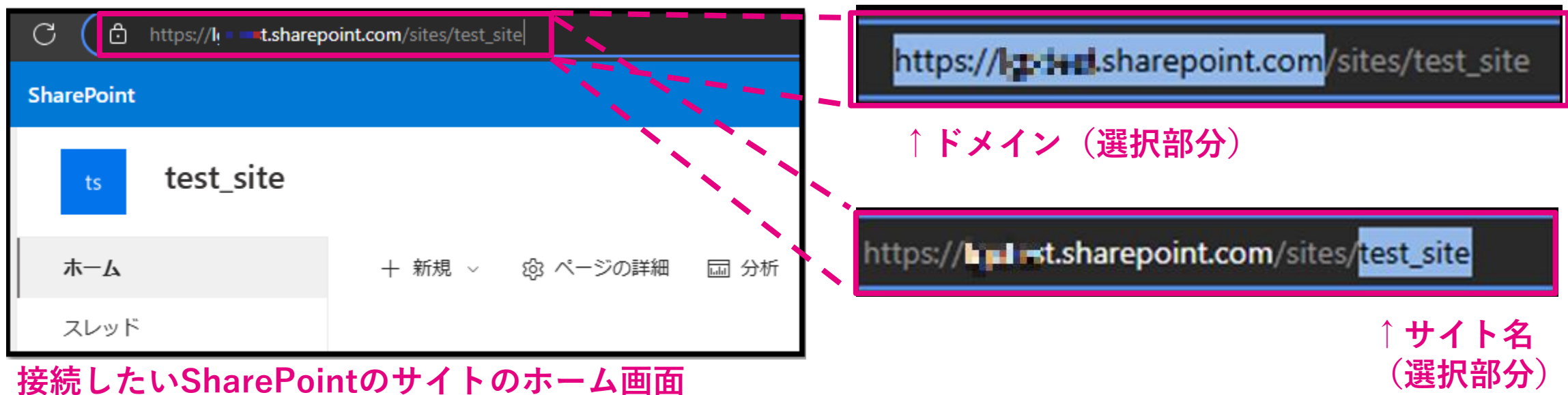
2.1 OAuth 2.0認証コネクションの作成 (6/6)

- ⑦「次へ」をクリックしプロフィールの設定をします。
リフレッシュトークンの発行時に指定したプロフィールを選択します

- ⑧サマリーを確認後、「完了」をクリックします

2.2 SharePointコネクションの作成

- ①コネクションの新規追加画面を開き、種類は「SharePoint」を選択します
- ②「全般」でコネクションの名前とワークスペースを入力後、「設定」画面に移ります
- ③「ドメイン」と「サイト名」を入力します
- ④「プロファイル」で Oauth 2.0 認証コネクションを作成したときと同じプロファイルを選択し、サマリーを確認して問題が無ければ「完了」をクリックします



3. 接続テスト

3. 接続テスト（ドキュメントダウンロード処理）

ドキュメントダウンロード処理を例にテスト実行を行います。

- ①ドキュメントダウンロード処理のアイコンを配置後、
 - ・ [コネクション]…SharePointコネクション
 - ・ [認証コネクション]…OAuth 2.0認証コネクションを選択します。

- ②ダウンロードしたいSharePoint側のドキュメントを[ライブラリ名]と[ファイルパス]欄で設定し、ダウンロード先とするHULFT Square内のファイルを[ストレージファイルパス]欄で設定してください。



HS ドキュメントダウンロード処理のプロパティ

ドキュメントダウンロード処理
ドキュメントダウンロード処理のプロパティを設定します。

名前: ドキュメントダウンロード処理

必須設定 コメント

コネクション: SharePoint接続_ForSuccessNavi (CSエンジニア課)

認証コネクション: OAuth 2.0認証_ForSuccessNavi(SharePoint) (CSエンジニア課)

接続テスト

ライブラリ名: ドキュメント

ライブラリ名を検索...

ファイルパス: /sample_folder/Book.xlsx

ストレージファイルパス: SuccessNavi/SharePoint/Book.xlsx

参照...

完了 取消し



< 免責条項 >

本資料の内容は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されているものであり、今後予告なしに変更されることがあります。よって本資料使用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。

なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。